



町田市教育委員会会議  
 教育長 小池慎一郎 様

2025年12月3日

成瀬小学校にも 本町田ひなた小学校と同様に  
 小荷物専用昇降機(給食用)の設置を求めます(請願)

豊かな教育と公正な税金の運用を求める会  
 事務局

連絡先  
 電話



(請願の要旨)

成瀬小学校にも、本町田ひなた小学校と同様に、給食専用の小荷物専用昇降機の設置を求めます。

(請願の理由)

今日は意見陳述の機会を与えてくださり、ありがとうございます。  
 南成瀬に住んでいる佐藤と申します。

2025年9月9日市議会文教社会常任委員会で「成瀬小学校と本町田ひなた小学校の新校舎の基本設計ができた」と報告があったので、情報公開(情報提供)で、その「基本設計」(図面等)を入手しました。

現在でも、車イスの子どもも、通常の学級で学習していますし、インクルーシブ教育の視点の広がりの中で、「基本設計」の図面では、成瀬小と本町田ひなた小の新校舎に共に「エレベーター」が設置されており、これは適切なことと思います。

「エレベーター」の実際に中に入る「内側のスペース」は、成瀬小も本町田ひなた小も、縦215cm・横160cmです。ストレッチャーであれば1台(ゆとりをもって)、車イスは、自分で操作して中に入って向きを変えたりしますからスムーズな動きなら2台でしょうか(4台だと向きを変えにくいし時間がかかります)。

本町田ひなた小学校の新校舎には、給食専用の「小荷物専用昇降機」が設置され、各階の「配膳室」につながり、子どもたちの給食がスムーズに行くように動きが工夫されています。

しかし、成瀬小学校の新校舎には、「エレベーター」の大きさは本町田ひなた小と同じなのに、給食専用の「小荷物専用昇降機」が設置されていません。それぞれの学校の業者が違いますが、(やりとりすればできるのに)、どうしてでしょうか。

「エレベーター」が(各階の配膳室につながり)給食でもあるいは子ども(車イスの子も)でもの「兼用」になっています。

成瀬小は、現在、通常学級=19学級、特別支援学級=4学級です。

それほど大きくない「エレベーター」と思われますので、続けざまに使用回数が多い給食時(準備と片付け)には、車イスの子が(授業で自分の教室に戻ろうとしたり、他の教室等に移動するのに)中々「エレベーター」に乗れない、あるいはやっとエレベーターに乗っても時間もかかりますから、他の子どもから「大事な給食なのに、その子がエレベーターに乗ると、給食が遅れてしまう」と思われたりもします。場合によっては、いじめられたりします。

私が勤めていた肢体不自由の特別支援学校の「エレベーター」は、一度に車イス8台ほど乗れるほど大型だったので、給食時に介助員さんが運ぶ給食ワゴンと(授業から自分の教室に戻る子ども)車イスが一緒になっても、そんなに待たないで、「エレベーター」に乗っていました。

子どもにとって大事な給食と車イスの子どもの動きを大切にして、成瀬小にも、給食専用の「小荷物専用昇降機」を設置してほしいです。